

# 安倍政権の強権姿勢が破たん 県民のたたかい 追い込む

沖縄県と政府は3月4日、名護市辺野古の米軍新基地建設をめぐる訴訟で、福岡高裁那覇支部が提示した、新基地工事の中断などを盛り込んだ「暫定和解案」で合意。工事が中止されました。県民世論を無視してきた安倍政権の強権姿勢の破たんは鮮明です。



## 新基地断念、普天間撤去へ たたかい前進させよう 共産党・志位委員長がツイート

日本共産党の志位和夫委員長はインターネット上のツイッターで次のように述べました。紹介します。

沖縄県・国の和解で、辺野古埋立工事は中止になった。県民のたたかいが、安倍政権の強権姿勢を破たんに追い込んだ。しかし、首相は、和解のその日に、「辺野古が唯一の選択肢」と言い放つ。辺野古新基地は断念せよ、普天間基地の閉鎖・撤去を——たたかいをさらに前進させ、選挙で必ず勝ちましょう!

### 安倍暴走ストップ!!命を守る政治を

「野党共闘」に全力あげる日本共産党を伸ばしてください

沖縄と連帯し、首都東京でも、米軍オスプレイ配備撤回、横田基地撤去へ、そして安倍政権の打倒へ、全力をあげます。



参議院(東京選挙区)予定候補  
弁護士・31歳

やまぞえたく

山 添 拓



ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471

2016年3月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。  
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

沖縄

新基地  
の

埋め立て工事中止